

行政報告の主な内容（7課16項目）

(1)総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	自衛隊関係について
(2)企画商工観光課	令和6年度ふるさと納税の実績について
	令和7年度ふるさと納税事業における返礼品サイト掲載の寄附募集額誤りに関する件について
	地域おこし協力隊員等について
(3)町民生活課	町税等の収納状況について
	犯罪被害者等支援に係る警察との協定調印について
	国外交流カムローズ市友好都市提携について
(4)農業振興課	農作物の生育状況について
(5)建設水道課	建設産業安全大会について
	道路・治水砂防関係について
(6)教育振興課	上富良野高校の入学状況等について
	児童生徒の部活動等における活躍状況について
(7)町立病院	町立病院改築整備事業について
(8)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(令和7年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課【総務班関係】行政報告)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の退職者14名の欠員に対して、保健師1名、看護師4名、栄養士1名、一般事務職等4名の採用を行い、昨年度当初から4名減の190名による執行体制としたところであります。

今後とも、町民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら、業務の円滑な推進と体制の強化を図り、一層信頼される組織となるよう取り組んで参ります。

次に、国の栄典関係についてであります。4月29日発令の春の叙勲において、地方自治功労として村上 和子氏が旭日双光章を、危険業務従事者の防衛功労として4名が瑞宝単光章を受章されたところであります。

また、5月1日発令の高齢者叙勲において、梨澤 節三氏が瑞宝双光章を受章されたところであります。

改めて、これまでの功績に心から敬意を表しますとともに、ますますのご活躍ご健勝をお祈り申し上げます。

(総務課【基地調整関係】行政報告)

次に、自衛隊関係についてであります。5月24日に北部方面後方支援隊創隊記念行事に参加したほか、6月1日に上富良野駐屯地が創立70周年を迎えたことに伴い、記念行事に出席するとともに、富良野地方自衛隊協力会と上富良野駐屯地が共同して市中観閲行進を開催するなど、多くの町民の皆様と喜びを共にしたところであります。

また、各部隊行事、協力団体行事につきましても参加したところであります。今後におきましても自衛隊との連携及び共生を図ってまいります。

次に、基地対策関係についてであります。上富良野町基地対策協議会により、6月12日に「防衛施設周辺整備対策に関する要望」を上富良野駐屯地に行なってきたところであります。

(企画商工観光課行政報告 [企画政策班関係])

次に、令和6年度ふるさと納税事業の実績についてであります。件数で1万9千206件、金額にして約4億4千500万円のご寄付があったところであります。商品代金や配送料、取扱委託料など必要経費の約2億3千600万円を差し引いた金額は約2億900万円となり、今後の事業に備えた基金への積み立てを行うとともに、事務事業の円滑な遂行に向け、適切に歳出化を図ってまいります。

次に、令和7年度ふるさと納税事業における返礼品サイト掲載の寄附募集額誤りに関する件についてであります。本年5月30日より寄附募集を開始しました「北海道上富良野産【ゆめぴりか】20キロ」につきまして、本来設定すべき価格より著しく低い寄付額で掲載されていたことが6月2日に判明いたしました。

ふるさと納税返礼品につきましては、寄附額の3割を超える返礼

品を提供することは固く禁じられており、今回寄附いただいた額では、返礼品を提供することができないことから、大変恐縮ではありますが、対象となる寄附募集につきましては、全てキャンセルとし、現在、各寄付者の方々へ個別に連絡をし、返金等の対応を進めているところでもあります。

今回の原因は、返礼品事業者が適正に設定していた価格を、中間事業者が誤って著しく安価に設定したことにより、各サイトに掲載された寄附募集額も連動し誤った低い額になったものであります。

ふるさと納税を通して、本町に多大な応援をいただいている中で、このような形で多くの方々に多大なご迷惑をおかけしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

今後は、同様の事態が発生しないよう、町を含め各事業者間の連携を一層強化し、信頼される制度となるよう努力してまいります。また、本事業を通じ、「かみふらのブランド」の知名度、魅力向上、そして自主財源の確保に努めてまいります。

次に、地域おこし協力隊員についてであります。4月1日付で特産農作物支援員1名、5月1日付で観光推進員1名の計2名を採用し、昨年度から引き続き任用した10名と合わせ、12名の地域おこし協力隊員に活動して頂いているところでもあります。

また、今年度から活用しております、地域おこしプロジェクトマネージャ制度については、4月12日付けで1名、5月1日付けで1名を任用し、活動して頂いているところでもあります。

今後におきましても地域の課題解決に向けて、地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャ制度の活用を行ってまいります。

(町民生活課行政報告 [税務班関係])

次に、町税等の収納状況についてであります。納税相談や滞納者に対する督促・差押え等を行い、徴収に努めてまいりました。

これらにより、令和6年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で前年比0.3%増の98.3%、国保税で0.4%増の99.4%と一定の水準を確保できたところであり、滞納繰越金は、町税で1千676万6千円、国保税で132万3千円となっております。今後も納期内納税の啓発と収納率の向上に努めてまいります。

また、国民健康保険未就学児・学生均等割減免につきましては、218名が対象となり、国の軽減額が57万4千円、町の減免額が473万円となっております。

(町民生活課行政報告 [生活環境班関係])

次に、犯罪被害者等支援に係る警察との協定調印についてですが、犯罪被害者等を社会全体で支えるため、上富良野町犯罪被害者等支援条例を令和7年4月1日に施行し、犯罪被害者やその家族へ必要な支援が円滑に実施されるよう、町と警察とが相互に緊密な連携を図るため、北海道警察富良野警察署と「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」を4月16日に締結いたしました。

今後も、警察と生活安全に関する情報交換を行い、安全で安心して暮らすことができる地域社会を目指し施策を進めてまいります。

(町民生活課行政報告 [自治推進班関係])

次に、国外交流カムローズ市友好都市提携についてですが、令和7年5月3日にカムローズ日本友の会マックス元副会長の来町に合わせて、行政及び町議会並びに元国内外交流協会の関係者が出席し、カムローズ市友好提携に関する会議を開催しました。カムローズ市における市民活動団体の人材及び活動体制並びに行政の関わり方についての意見交換を実施し、カムローズ市における市民活動団体の現状把握とともに行政の活動支援の関係性について確認を行

ったところであります。

マックス元副会長より、カムローズ市の行政による提携盟約の継続に対する考えについては、市側に直接確認するようご意見を頂いたことから、5月7日に現在のカムローズ市長であるスタスコ市長に対し、本町における活動団体の情報提供と今後のカムローズ市行政及び市議会の組織としての意向について、確認して頂くよう依頼をしたところであります。

今後におきましては、カムローズ市行政及び市議会からの回答を受けて、友好都市提携の活動継続の可能性について検討を進めるとともに、先例により40周年の期日となる令和7年9月5日を目途に、今後の交流の可否について、意思決定を行ってまいります。

(農業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、農作物の生育状況についてであります。本年は雪解けが早く、早期の営農開始が期待されましたが、4月の低温及び降雨により、現在のところ、水稻においては例年どおりであります。畑作で約3～8日ほどの遅れで播種が行われているところあります。

引き続き生育状況を注視しつつ、農業関係機関相互の連携を図り、農業者の皆さまとともに豊穰の秋が迎えられることを期待しております。

(建設水道課行政報告 [土木建設班関係])

次に、建設産業安全大会についてであります。建設工事の繁忙期を迎えるにあたって、4月21日に建設業協会と商工会工業部会の共催により、建設事業従事者約100名が集い開催され、交通事故や労働災害の防止を参加者全員により確認し、無事故を誓ったところあります。

次に、道路・治水砂防関係についてであります。4月22日には北海道道路整備促進協会、北海道治水砂防海岸事業促進同盟及び北海道防災協会への各通常総会に、4月23日には北海道道路利用者会議令和7年度定期総会へ出席し、道路、治水、砂防事業の拡充及び促進を図るための活動を行ったところであります。

また、5月13日には全国道路利用者会議第77回定期総会へ出席、5月14日には道路整備促進期成同盟会全国協議会第46回通常総会、命と暮らしを守る道づくり全国大会、道路整備に係る中央要請活動に参加してきたところであります。

(教育振興課行政報告 [学校教育班関係])

次に、上富良野高校への入学状況についてであります。今春の新入学者数は、地元の中学卒業生16名を含む21名となり、全校生徒数は69名となったところであります。

また、特色ある学校づくりの一環として、令和2年度から導入している「学校給食」については、全校生徒69名中60名の生徒が利用され好評を得ているところであり、次年度の入学者の確保に向け、上富良野高等学校教育振興会補助をはじめ魅力ある学校づくりの支援を引き続き進めてまいります。

(教育振興課行政報告 [社会教育班関係])

次に、児童生徒の部活動等における活躍状況についてであります。3月に開催されたJOCジュニアオリンピックカップ2025全日本ジュニアスキー選手権大会に、山川岳さん、佐藤宏哉さん、松下湊さんが出場されました。

この他にも全道大会等に児童生徒が出場されているところであり、今後におきましても、本町の子どもたちが各方面で活躍していただくことを期待するものであります。

(町立病院行政報告)

次に、町立病院改築整備事業についてであります。本体工事が完了し、建物が3月に町へ引き渡され、4月12日に竣工式を挙行し、式後の内覧会では約700名の方々にお越しいただいたところがあります。

5月からは、新病院での診察等が開始され、今後におきましても、町民の皆様が地域で安心して暮らし続けられるよう地域医療の基幹的施設として運営してまいります。

(総務課行政報告 [財政管理班関係])

最後に、建設工事の発注状況についてであります。本年度、入札執行した建設工事は、6月16日現在、件数で17件、事業費総額で3億991万4千円となっております。また、本年度発注予定の建設工事は48件で、その情報については4月1日付で公表したところがあります。

なお、お手元に「令和7年度建設工事発注状況」を配布しておりますので、後程ご高覧いただきたく存じます。